

地二359(新川郡村々組分絵図)



絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838

年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイント№

1

モチーフ

地色

色

紙地

推定色料名

色なし

絵図調査日

2010/11/29

肉眼で紙地、100倍顕微鏡の観察で紙地を確認。蛍光X線分析は無反応を示したことから、色なしと推定した。

絵図(部分)

×100(ピーク)

×175(キーエンス)

画像なし

画像なし

2010/11/29測定

未調査

蛍光X線スペクトル

可視反射スペクトル

1

100
80
60
40
20
0

200400600800

波長(nm)

2010/11/29測定

主成分:検出せず

2010/11/29測定

メモ

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838

年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイント№

2

モチーフ

海

色

薄青色

推定色料名

藍+胡粉か

絵図調査日

2010/11/29

肉眼で薄青色、100倍顕微鏡の観察で白色と青色を確認。蛍光X線分析は微量のCa元素が検出、可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と胡粉の混色と推定した。

絵図(部分)

×100(ピーク)

×175(キーエンス)

画像なし

画像なし

2010/11/29測定

未調査

蛍光X線スペクトル

可視反射スペクトル

2

100
80
60
40
20
0

200400600800

波長(nm)

2010/11/29測定

微量成分:Ca

2010/11/29測定

メモ

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838

年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイント№

3

モチーフ

川

色

薄青色

推定色料名

藍+胡粉か

絵図調査日

2010/11/29

肉眼で薄青色、100倍顕微鏡の観察で白色と青色を確認。蛍光X線分析は微量のCa元素が検出、可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と胡粉の混色と推定した。

絵図(部分)

×100(ピーク)

×175(キーエンス)

画像なし

画像なし

2010/11/29測定

未調査

蛍光X線スペクトル

可視反射スペクトル

3

100
80
60
40
20
0

200400600800

波長(nm)

2010/11/29測定

微量成分:Ca

2010/11/29測定

メモ

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|--------------|--|-----------|--|------|--|-------------|--|--------------|--|---|--|--------------|--|
| 絵図名 | | 地二359 | | 新川郡村々組分絵図 | | 作成年代 | | 1838 | | 年 | | 所蔵機関 | | 射水市新湊博物館 | |
| ポイント№ | | 4 | | モチーフ | | 道 | | 色 | | 赤色 | | 推定色料名 | | 朱(辰砂)か | |
| 絵図調査日 | | 2010/11/29 | | | | | | DICH№ | | 未調査 | | 肉眼で赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出、可視反射分光スペクトルは、辰砂の特徴を示していることから、朱(辰砂)と推定した。 | | | |
| 絵図(部分) | | | | ×100(ピーク) | | | | ×175(キーエンス) | | 赤外線写真(部分) | | 可視反射スペクトル | | 蛍光X線スペクトル | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2010/11/29測定 | | 未調査 | | 未調査 | | 未調査 | | 2010/11/29測定 | | 2010/11/29測定 | | 2010/11/29測定 | |
| 絵図名 | | 地二359 | | 新川郡村々組分絵図 | | 作成年代 | | 1838 | | 年 | | 所蔵機関 | | 射水市新湊博物館 | |
| ポイント№ | | 5 | | モチーフ | | 郡境 | | 色 | | 黒色 | | 推定色料名 | | 墨か | |
| 絵図調査日 | | 2010/11/29 | | | | | | DICH№ | | 未調査 | | 肉眼で黒色、100倍顕微鏡の観察で黒色を確認。蛍光X線分析は無反応を示したことから、墨と推定した。 | | | |
| 絵図(部分) | | | | ×100(ピーク) | | | | ×175(キーエンス) | | 赤外線写真(部分) | | 可視反射スペクトル | | 蛍光X線スペクトル | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2010/11/29測定 | | 未調査 | | 未調査 | | 未調査 | | 2010/11/29測定 | | 2010/11/29測定 | | 2010/11/29測定 | |
| 絵図名 | | 地二359 | | 新川郡村々組分絵図 | | 作成年代 | | 1838 | | 年 | | 所蔵機関 | | 射水市新湊博物館 | |
| ポイント№ | | 6 | | モチーフ | | 山 | | 色 | | 薄緑色 | | 推定色料名 | | 藍+藤黄か | |
| 絵図調査日 | | 2010/11/29 | | | | | | DICH№ | | 未調査 | | 肉眼で薄緑色、100倍顕微鏡の観察で透明感のある緑色と青色を確認。蛍光X線分析は無反応、可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、黄色系染料との混色と考えられることから、藍と藤黄とと推定した。 | | | |
| 絵図(部分) | | | | ×100(ピーク) | | | | ×175(キーエンス) | | 赤外線写真(部分) | | 可視反射スペクトル | | 蛍光X線スペクトル | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2010/11/29測定 | | 未調査 | | 未調査 | | 未調査 | | 2010/11/29測定 | | 2010/11/29測定 | | 2010/11/29測定 | |

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838 年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

7

モチーフ

色見本(山室)

色

赤色

推定色料名

朱(辰砂)か

絵図調査日

2010/11/29

未調査

DICNo.

未調査

絵図(部分)

×100(ピーク)

×175(キーエンス)

画像なし

赤外線写真(部分)

画像なし

未調査

可視反射スペクトル

2010/11/29測定

蛍光X線スペクトル

2010/11/29測定

主成分: Hg

メモ

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838 年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

8

モチーフ

色見本(鳩)

色

薄緑色

推定色料名

藍+藤黄+胡粉か

絵図調査日

2010/11/29

未調査

DICNo.

未調査

絵図(部分)

×100(ピーク)

×175(キーエンス)

画像なし

赤外線写真(部分)

画像なし

未調査

可視反射スペクトル

2010/11/29測定

蛍光X線スペクトル

2010/11/29測定

微量成分: Ca

メモ

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838 年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

8

モチーフ

色見本(鳩)

色

薄緑色

推定色料名

藍+藤黄+胡粉か

絵図調査日

2010/11/29

未調査

DICNo.

未調査

絵図(部分)

×100(ピーク)

×175(キーエンス)

画像なし

赤外線写真(部分)

画像なし

未調査

可視反射スペクトル

2010/11/29測定

蛍光X線スペクトル

2010/11/29測定

微量成分: Ca

メモ

| | | | | | | | | | | |
|--------------|------------|-------------|---------|---------------|-----|--------------|--|--|--|--|
| ポイント№ | 9 | モチーフ | 色見本(廣田) | 色 | 黄色 | 推定色料名 | 藤黄か | | | |
| 会図調査日 | 2010/11/29 | | | DICNo. | 未調査 | | 肉眼で黄色、100倍顕微鏡の観察で透明感のある黄色を確認。蛍光X線分析は無反応を示していることから、 藤黄と推定した。 | | | |

絵図(部分)

| | | | | | |
|--------------------|------------------|------------------|----------------------|------------------|----------------------|
| ×175(キーエンス) | ×100(ピーク) | 赤外線写真(部分) | 可視反射スペクトル | 蛍光X線スペクトル | メモ |
| 画像なし | | 画像なし | 波長(nm) vs 反射率(%) | | 主成分：検出せず |
| 未調査 | 2010/11/29測定 | 未調査 | 2010/11/29測定 | 2010/11/29測定 | |

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838

年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイント№

10

モチーフ

色見本(高野)

色

黒色

推定色料名

墨か

色

黒色

DIC№

未調査

絵図調査日

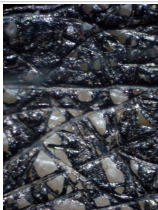
2010/11/29

絵図(部分)

寺田 高野 針原 虎田 鳩

下 寺田 針 高野

×100(ピーク)



×175(キーエンス)

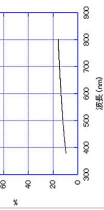
画像なし

画像なし

赤外線写真(部分)

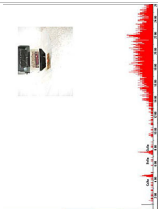
未調査

可視反射スペクトル



2010/11/29測定

蛍光X線スペクトル



2010/11/29測定

主成分: 検出せず

メモ

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838

年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイント№

11

モチーフ

色見本(針原)

色

灰色

推定色料名

藍+藤黄+胡粉か

色

灰色

DIC№

未調査

絵図調査日


2010/11/29

絵図(部分)

寺田 高野 針原 虎田 鳩

下 寺田 針 高野

×100(ピーク)



×175(キーエンス)

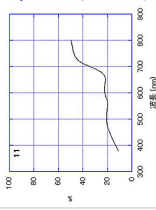
画像なし

画像なし

赤外線写真(部分)

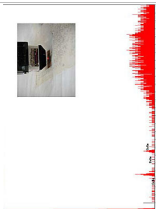
未調査

可視反射スペクトル



2010/11/29測定

蛍光X線スペクトル



2010/11/29測定

主成分: 検出せず

メモ

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838

年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイント№

11

モチーフ

色見本(針原)

色

灰色

推定色料名

藍+藤黄+胡粉か

色

灰色

DIC№

未調査

絵図調査日


2010/11/29

絵図(部分)

寺田 高野 針原 虎田 鳩

下 寺田 針 高野

×100(ピーク)



×175(キーエンス)

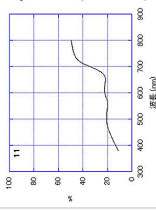
画像なし

画像なし

赤外線写真(部分)

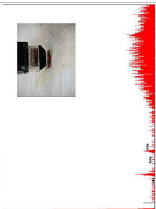
未調査

可視反射スペクトル



2010/11/29測定

蛍光X線スペクトル



2010/11/29測定

主成分: 検出せず

メモ

| | | | | | | | | | |
|---------------|------------|-------------------|--|---------------------|--|------------------|-----|--|------|
| ポイント№ | 12 | モナーフ | | 色見本(寺田) | | 色 | 薄桃色 | 推定色料名 | ベンガラ |
| 会図調査日 | 2010/11/29 | | | | | DICNo. | 未調査 | 肉眼で薄桃色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は無反応に近く、可視反射分光スペクトルは、辰砂の特徴を示していない。100倍顕微鏡では赤色系染料の特徴が見られないことから、ベンガラと壘の混色と推定した。 | |
| 絵図(部分) | | | | | | | | | |
| | | x 100(ピーク) | | x 175(キーエンス) | | 赤外線写真(部分) | | 可視反射スペクトル | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 蛍光X線スペクトル | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 主成分:検出せず | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 2010/11/29測定 | |
| | | | | | | | | 2010/11/29測定 | |

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイント№

13

モチーフ

モナーフ

色見本(下条)

色

薄青色

推定色料名

藍+胡粉か、

DIC№.

未調査

絵図調査日

2010/11/29

肉眼で薄青色、100倍顕微鏡の観察で白色と青色を確認。蛍光X線分析は無反応に近く、可視反射分光スペクトルは、indigo系染料を主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と胡粉の混色と推定した。

絵図(部分)

×100(ピーク)

×175(キーエンス)

赤外線写真(部分)

可視反射スペクトル

蛍光X線スペクトル

主成分: 検出せず^{a)}

ΔE

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイント№

14

モチーフ

モナーフ

色見本(上条)

色

灰色

推定色料名

藍+墨+胡粉か、

DIC№.

未調査

絵図調査日

2010/11/29

肉眼で灰色、100倍顕微鏡の観察で白色と青色と黒色を確認。蛍光X線分析は無反応に近く、可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と胡粉と墨の混色と推定した。

絵図(部分)

×100(ピーク)

×175(キーエンス)

赤外線写真(部分)

可視反射スペクトル

蛍光X線スペクトル

主成分: 検出せず^{a)}

ΔE

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838

年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

16

モチーフ

色見本(西加積)

色

薄橙色

推定色料名

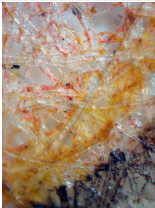
朱+藤黄か

色図調査日


2010/11/29

色図(部分)

×100(ピーク)



×175(キーエンス)



画像なし

赤外線写真(部分)

2010/11/29測定

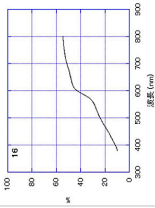
未調査

画像なし

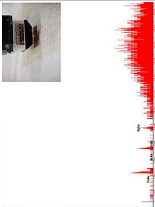
可視反射スペクトル

2010/11/29測定

16



微量成分: Hg



蛍光X線スペクトル

2010/11/29測定

メモ

肉眼で薄橙色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、透明感のある黄色を確認。蛍光X線分析はHg元素が検出、可視反射分光スペクトルは、辰砂の混色の特徴を示していることから、藤黄と朱(辰砂)の混色と推定した。

ポイントNo.

17

モチーフ

色見本(布施)

色

赤色

推定色料名

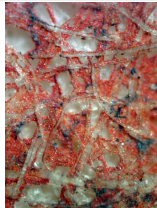
朱+墨か

色図調査日


2010/11/29

色図(部分)

×100(ピーク)



×175(キーエンス)



画像なし

赤外線写真(部分)

2010/11/29測定

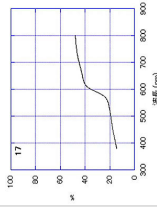
未調査

画像なし

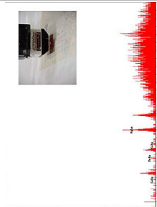
可視反射スペクトル

2010/11/29測定

17



主成分: Hg



蛍光X線スペクトル

2010/11/29測定

メモ

肉眼で赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、黒色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出、可視反射分光スペクトルは、辰砂の特徴を示していることから、朱(辰砂)と墨の混色と推定した。

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838

年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

16

モチーフ

色見本(西加積)

色

薄橙色

推定色料名

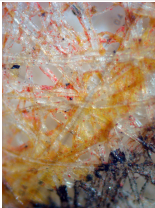
朱+藤黄か

色図調査日


2010/11/29

色図(部分)

×100(ピーク)



×175(キーエンス)



画像なし

赤外線写真(部分)

2010/11/29測定

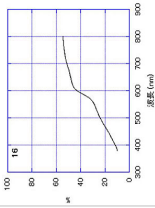
未調査

画像なし

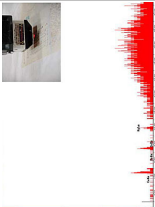
可視反射スペクトル

2010/11/29測定

16



微量成分: Hg



蛍光X線スペクトル

2010/11/29測定

メモ

肉眼で薄橙色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、透明感のある黄色を確認。蛍光X線分析はHg元素が検出、可視反射分光スペクトルは、辰砂の混色の特徴を示していることから、藤黄と朱(辰砂)の混色と推定した。

ポイントNo.

17

モチーフ

色見本(布施)

色

赤色

推定色料名

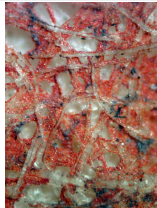
朱+墨か

色図調査日


2010/11/29

色図(部分)

×100(ピーク)



×175(キーエンス)



画像なし

赤外線写真(部分)

2010/11/29測定

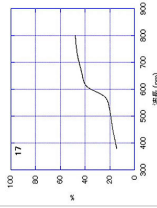
未調査

画像なし

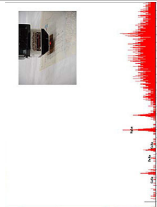
可視反射スペクトル

2010/11/29測定

17



主成分: Hg



蛍光X線スペクトル

2010/11/29測定

メモ

肉眼で赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、黒色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出、可視反射分光スペクトルは、辰砂の特徴を示していることから、朱(辰砂)と墨の混色と推定した。

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

19

モチーフ

色見本(入膳)

色

濃青色

推定色料名

藍+胡粉か

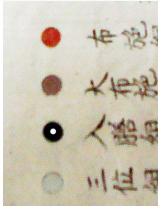
DICNo.

未調査


絵図調査日

2010/11/29


絵図(部分)




×100(ピーク)



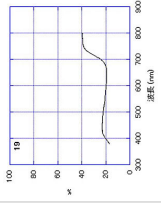
×175(キーエンス)



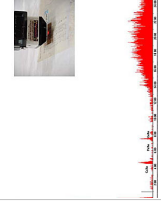
赤外線写真(部分)




可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



微量成分 : Ca



メモ

絵図名

地二359

新川郡村々組分絵図

作成年代

1838年

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

20

モチーフ

色見本(三位)

色

薄灰色

推定色料名

藍+胡粉か

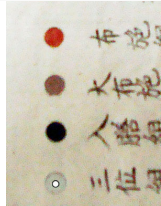
DICNo.

未調査

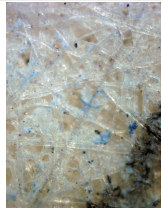
絵図調査日

2010/11/29


絵図(部分)




×100(ピーク)



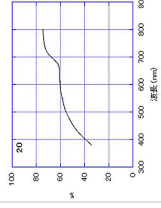
×175(キーエンス)



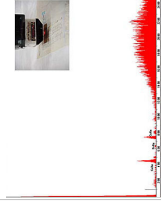
赤外線写真(部分)




可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



主成分 : 検出せず[※]



メモ

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|---|--|-----------|--|------|--|-----------|--|--------------|--|-----------|--|--|--|
| 絵図名 | | 地ニ359 | | 新川郡村々組分絵図 | | 作成年代 | | 1838 | | 年 | | 所蔵機関 | | 射水市新湊博物館 | |
| ポイントNo. | | 22 | | モチーフ | | 領地 | | 薄緑色 | | 推定色料名 | | 藍+藤黄か | | | |
| 絵図調査日 | | 2010/11/29 | | | | | | 色 | | Dichro. | | 未調査 | | 肉眼で薄緑色、100倍顕微鏡の観察で透明感のある青色と黄色と黄色を確認。蛍光X線分析は無反応、可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料と黄色系染料との混色の特徴を示していることから、藍と藤黄の混色と推定した。 | |
| 絵図(部分) | |  | | | | | | ×100(ピーク) | | ×175(キーエンス) | | 赤外線写真(部分) | | 可視反射スペクトル | |
| | |  | | 画像なし | | 画像なし | | 画像なし | | 2010/11/29測定 | | 未調査 | | 2010/11/29測定 | |
| | | | | 未調査 | | 未調査 | | 未調査 | | 未調査 | | 未調査 | | 2010/11/29測定 | |
| メモ | | | | | | | | | | | | 主成分: 検出せず | |  | |